◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.470　（2024年度No.45）**　 　2024/11/15

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**ナナカマド**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-7** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **7-8** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **8-15** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **15-19** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)**マクドナルド関連は巻末**  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **19-33** |

1. **[食科協関係](#食科協関係)**

11月08日　 かわら版469号を発行・かわら版ニュース＆トピックス456号を発行

11月08日 ニュースレター255号号外配信

11月13日　 食科協ワークショップ開催

11月15日　 かわら版470号を発行・かわら版ニュース＆トピックス457号を発行

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***医薬品成分を含有する製品の発見について　2024/11/12**

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/001330257.pdf>

**本日、福岡県から、別添のとおり報道発表を行った旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。**

**健康食品買上げ検査の結果について**

**～検査した１５品目のうち１品目から医薬品成分を検出～　2024/11/12　福岡県　薬務課県では、いわゆる健康食品による県民の健康被害を未然に防止するため、平成１４年度から買上げ検査を行っています。**

**今般、令和６年８月に強壮や痩身等を意図して販売されている１ ５品目を買上げ検査を行った結果、１品目から医薬品成分が検出さ れたため、本日、販売業者を管轄する自治体に通報しました。**

**医薬品成分が含まれるものは、「食品」と称された場合であっても医薬品とみなされ、未承認の医薬品販売等を行ったものとして、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律違反となります。**

**１ 買上げ検査概要**

**(1) 買上げ品目等：強壮系 ９品目（うち違反品１品目 ※詳細は別紙参照）**

**痩身系 ６品目　計 １５品目**

**(2) 買上げ先：１５社（インターネット販売業者から購入）**

**(3) 検査結果判明日：令和６年１１月１２日**

**２ 結果**

**検査を行った結果、１品目から医薬品成分である｢タダラフィル｣（ ※ ） を検出しました。 ※別紙参照**

**３ 違反製品に対する措置**

**(1) 本日、製品の発送元所在地を管轄する茨城県に通報を行いました。なお、ホームページ上に特定商取引法上の所在地として 記載されていたネットショップ作成サービスを運営する事業者については、管轄する東京都港区へ情報提供を行いました。**

**(2) 本日、販売業者及び違反品目について、厚生労働省に情報提供を行いました 。**

**当該情報は厚生労働省のホームページで公表される予定です 。**

**(3) 本日、県のホームページに違反製品名等を掲載しました。**

**（掲載先：ト ップペー ジ > 防災・くらし > 食品・生活衛 生・動物 愛護> 食の安全情報 > 健康食品買上げ検査の結果について）**

**URL：**<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kenko -r6-1.html>

**４ 健康被害について**

**現時点において、この製品による健康被害は、報告されていません。**

**５ 県民への注意喚起**

**(1) この製品を購入した方は、直ちに服用を中止し、身体に異常がある場合には、医療機関を受診するか最寄りの保健福祉環境事務所、保健福祉事務所又は保健所に御相談ください。**

**(2) 医薬品的効能効果を謳った健康食品は購入しないよう心がけてください。**

**違反品目の詳細**

**販 売 名　Ｂｌａｃｋ Ｈｏｒｓｅ ＰＲＥＭＩＵＭ**

**検出成分　タダラフィル**

**購 入 先**

**ロイヤル商店【正規品輸入代行】※ １（茨城県取手市※ ２ ）**

**※１ 福岡県が製品を購入したインターネット販売業者**

**※２ 送付された商品包装に記載の発送元所在地**

**その他参考情報**

**賞味期限　邦文表示なし**

**購入価格　５，０００円**

**規 格　３袋**

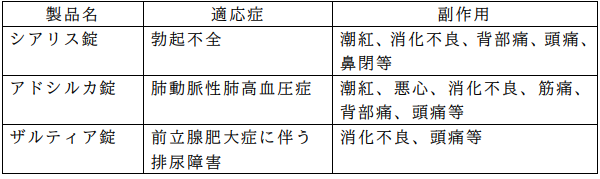
**製 造 者　邦文表示なし**

**規格等は、違反製品やホームページに記載されていたものを示しています。**

**検出された医薬品成分について**

**タダラフィル**

**〇同成分（タダラフィル）を使用した医薬品（国内で承認されている医薬品）**

****

**違 反 品 目 の 写 真　　Ｂｌａｃｋ Ｈｏｒｓｅ ＰＲＥＭＩＵＭ**

****

**（参考）関係条文**

**○医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和三十五年法律第百四十五号）（抄）**

**（医薬品、医薬部外品及び化粧品の製造販売の承認）**

**第十四条 医薬品（厚生労働大臣が基準を定めて指定する医薬品を除く。）、医薬部外品（厚生労働大臣が基準を定めて指定する医薬部外品を除く。）又は厚生労働大臣の指定する成分を含有する化粧品の製造販売をしようとする者は、品目ごとにその製造販売についての厚生労働大臣の承認を受けなければならない。**

**２～１７ （略）**

**（販売、授与等の禁止）**

**第五十五条 第五十条から前条まで、第六十八条の二第一項、第六十八条の二の三、第六十八条の二の四第二項又は第六十八条の二の五の規定に違反する医薬品は、販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で貯蔵し、若しくは陳列してはならない。ただし、厚生労働省令で別段の定めをしたときは、この限りでない。**

**２ 第十三条の三第一項の認定若しくは第十三条の三の二第一項若しくは第二十三条の二の四第一項の登録を受けていない製造所（外国にある製造所に限る。）において製造された医薬品、第十三条第一項若しくは第八項若しくは第二十三条の二の三第一項の規定に違反して製造された医薬品又は 第十四条第一項若しくは第十五項（第十九条の二第五項において準用する場合を含む。）、第十九条の二第四項、第二十三条の二の五第一項若しくは第十五項（第二十三条の二の十七第五項において準用する場合を含む。）、第二十三条の二の十七第四項若しくは第二十三条の二の二十三第一項若しくは第七項の規定に違反して製造販売をされた医薬品についても、前項と同様とする。**

**第八十四条 次の各号のいずれかに該当する者は、三年以下 の懲役若しくは三百万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する 。**

**一～十七 （略）**

**十八 第五十五条第二項（第六十条、第六十二条、第六十四条及び第六十五条の四において準用する場合を含む。）の規定に違反した者**

**十九～二十九 （略）**

**■***NEW***純アルコール量とアルコール分解時間を把握するツール「アルコールウォッチ」について　2024/11/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_45201.html>

**ツール紹介**

　　厚生労働省では、依存症の理解を深めるための普及啓発事業にて、純アルコール量とアルコール分解時間を把握するためのWebツールをリリースしました。

　　飲酒にあたっては、純アルコール量に着目しながら、自分に合った飲酒量を決めて、健康に配慮した飲酒を心がけることが大切です｡

　　本ツールは、飲んだお酒の種類と量を選択することで純アルコール量と分解時間を簡単に把握でき、飲酒や飲酒後の行動の判断のために活用されることを目的に作成しました。

　　また、アルコールウォッチの普及啓発を図るため、普及啓発資料を作成しました。

ご自由にご利用いただくことが可能ですので、アルコール健康障害対策に向けた普及啓発に是非ご活用ください。

**ツールURL**

​　　・アルコールウォッチ（依存症の理解を深めるための普及啓発事業特設サイト）

<https://izonsho.mhlw.go.jp/alcoholwacth/>

**啓発資材**

　　・アルコールウォッチA4サイズ　POP

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001328045.png>

・アルコールウォッチはがきサイズ　POP

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001328046.png>

　　・アルコールウォッチA4三つ折りサイズ　POP

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001328047.png>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１４１８報）　2024/11/12**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_45045.html>

　１　自治体の検査結果

宮城県、秋田県、千葉市、東京都、横浜市、新潟県、山梨県、浜松市、堺市

　※ 基準値超過　９件

　No. 34 宮城県　　 乾燥コウタケ　　　　（Cs ： 540 Bq / kg )　川崎町

　No. 35 宮城県　　　乾燥コウタケ　　　 （Cs ： 580 Bq / kg )　川崎町

　No. 36 宮城県　　 乾燥コウタケ　　　　（Cs ： 480 Bq / kg )　川崎町

　No. 41 宮城県　　 マツタケ　　　　 （Cs ： 210 Bq / kg )　気仙沼市

No. 529 山梨県　　　ショウゲンジ　　　 （Cs ： 160 Bq / kg )　富士河口湖町

　No. 530 山梨県　　 ショウゲンジ　　　 （Cs ： 160 Bq / kg )　富士河口湖町

No. 531 山梨県　　 ショウゲンジ 　　　 （Cs ： 140 Bq / kg )　富士河口湖町

　No. 533 山梨県　　 ショウゲンジ 　　 （Cs ： 230 Bq / kg )　富士河口湖町

　No. 534 山梨県　　 ショウゲンジ　　　 （Cs ： 140 Bq / kg ) 富士河口湖町

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１４１７報）　2024/11/5**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_44768.html>

　１　自治体の検査結果

宮城県、秋田市、山形県、栃木県、埼玉県、千葉県、文京区、横浜市、山梨県、静岡県、滋賀県、京都府

　※ 基準値超過　３件

　No. 18 静岡県　　 ハナイグチ　　　　　（Cs ： 120 Bq / kg )　富士宮市

　No. 19 静岡県　　　キヌメリガサ　　　　（Cs ： 440 Bq / kg )　富士宮市

　No. 1555 宮城県　　 ニホンジカ肉　　 　 （Cs ： 150 Bq / kg )　石巻市

　３　国立医薬品食品衛生研究所における検査結果

※ 基準値超過 １件

No. ８ 宮城県　　 コウタケ　　　 　　　（Cs ：1000 Bq / kg )　流通品

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.23 2024（2024.11.13）2024/11/13**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2024/foodinfo202423m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. マクドナルド社の店舗で提供されたタマネギに関連して複数州にわたり発生している大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク（2024 年 10 月 30 日付更新情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. エルシニア症 － 2022 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 食品および飼料の製造・加工環境における細菌の生残に関連する微生物学的ハザード

**【アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）】**

1. アイルランドの胃腸疾患および人獣共通感染症、2022 年（ベロ毒素産生性大腸菌（VTEC）感染症）

**【アイルランド食品安全局（FSAI）】**

1. サルモネラ症アウトブレイクの発生を受けアイルランド食品安全局（FSAI）がアヒル卵の調理について改めて注意喚起

**【デンマーク国立血清学研究所（SSI）】**

1. デンマークとスウェーデンによる公衆衛生コンソーシアムが欧州の抗生物質耐性リファレンス検査機関に指名される

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（68）（67）（66）（65）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.23　2024（2024.11.13）　2024/11/13**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2024/foodinfo202423c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【COT】二酸化チタンの in vitro 及び in vivo 遺伝毒性に関する COM の評価に関する声明**

食品添加物としての二酸化チタン（TiO2：E171）の遺伝毒性に関し食品・消費者製品・環境中の化学物質の変異原性に関する委員会（COM）が実施した評価について、英国毒性委員会（COT）が声明を発表した。COM の意見では、in vitro 試験で TiO2 ナノ粒子に遺伝毒性があるというエビデンスはほとんどないこと、in vivo 試験に関しては遺伝毒性誘発に関連した健康上の懸念があることを示唆する文献的エビデンスはほとんどないことを報告している。食品グレードの TiO2 の安全性を確定的に評価するには、OECD に準拠した質の高い試験がないため現時点では困難である。また今回レビューした既存の研究は、食品添加物として使用されるナノ粒子の割合が 50%未満の E171 を反映するものでないため、明確に評価するためには E171 を用いた GLP 試験が必要となるとしている。

**【FDA】 FDA ヒト用食品プログラム：2025 年会計年度優先措置**

米国食品医薬品局（FDA）は、ヒト用食品プログラム（HFP）における 2025 年度の優先措置（Priority Deliverables）を発表した。HFP はリスク管理の活動を 3 つの主要領域（微生物関連、化学物質、栄養）に集中している。うち化学物質については、規制強化として、食品に含まれる化学物質の市販前レビューの効率化と市販後評価の枠組みの更新、乳幼児用食品に含まれる有害元素のアクションレベルに関するガイダンスの作成（Closer to Zero）、新規ダイエタリー成分通知に関するガイダンスの更新などを行うとしている。また栄養については、Healthy（健康的）表示の定義づけ、包装前面の栄養表示の義務化に関する規則の提案、ナトリウム削減の支援などを行うとしている。

**【FDA】 スコンブロトキシンを産生する魚及び水産物に関するコンプライアンスポリシーガイドの最終版を発表**

米国 FDA は、スコンブロトキシン（ヒスタミン）を含む魚及び水産物の規制遵守に関する考えをまとめたガイダンスを更新し、最終版を発表した。消費者の保護を強化するため、FDA が措置を講じる可能性がある魚のヒスタミン濃度（腐敗の判断規準）について、以前は 50 ppm 以上としていたが、本ガイダンスでは 35 ppm 以上に引き下げた。

**【別添 BfR】 ナノマテリアル：微粒子が多様な特性を仲介する**

ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）がナノマテリアルに関する Q&A の更新版を発表した。ナノマテリアルは、化粧品、食品包装、消費者製品など日常生活のさまざまな製品分野で使用されている。各製品分野でナノマテリアルの用語の定義、表示の規制、使用される種類などが異なることを紹介している。さらに食品安全に関連して実施している BfRの研究プロジェクトでは、ナノ粒子を含む混合物の腸からの取り込み、腸と肝臓での輸送と細胞への影響、食品分野で使用されるナノプラスチックポリマーなどをテーマとしていることを報告している。

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.23　2024（2024.11.13）別添　2024/11/13**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2024/foodinfo202423ca.pdf>

● ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR：Bundesinstitut fur Risikobewertung）

<https://www.bfr.bund.de/en/home.html>

１. ナノマテリアル：微粒子が多様な特性を仲介する

Nanomaterials: Tiny particles mediate manifold properties13 September 2024

<https://www.bfr.bund.de/cm/349/nanomaterials-tiny-particles-mediate-manifold-properties.pdf>

（2021 年 10 月 18 日に公表された FAQ の更新

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**★***Link***紅麹を含む健康食品関係について【令和6年4月11日更新】**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2024/foodinfo202420ca.pdf>

**■***NEW***食品安全委員会（第962回）の開催について　2024/11/14**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和6年11月19日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

　（１）令和６年度食品安全確保総合調査課題（案）について

（２）その他

４．動画視聴について

：本会合については、その様子を動画配信するとともに、会場での傍聴も受け付けます。動画の視聴又は会場での傍聴を希望される方は、11月18日（月）12時までに、内閣府共通意見等登録システム(<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1404.html>　にて申し込みいただきますようお願いいたします。

　動画の視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに視聴に必要なURLを、11月19日（火）12時までに御連絡いたします。

　　なお、会場での傍聴席は限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には原則として先着順とさせていただき、傍聴可能な方には11月17日（月）18時までに御登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡いたしますので、受付時間（13：30〜13：50）までに会議室入口で受付をお済ませください。受付時間終了後は入場出来ませんので、ご了承ください。会場で傍聴できない方については、動画視聴に必要なＵＲＬをご送付させていただきます。

　　また、当日の配布資料につきましては、会議開催前までに食品安全委員会のウェブサイト（　<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>　）に掲載予定ですので、必要に応じて参照いただきながら、ご覧ください。

※動画視聴時の録画及び録音、画面撮影はご遠慮ください。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和6年9月14日から令和6年9月27日）2024/10/21**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2024&from_month=9&from_day=14&to=struct&to_year=2024&to_month=9&to_day=27&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***小林製薬が製造する紅麹関連製品による健康被害について**<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kaishu.html>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**★***Link***水産物の放射性物質調査の結果について**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>

**★***Link***鳥インフルエンザに関する情報**

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

**■***NEW***宮城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内7例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2024/11/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241114_1.html>

　宮城県石巻市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内7例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）宮城県石巻市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内7例目、11月10日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***香川県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内6例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2024/11/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241114.html>

**香川県三豊市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内6例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。**

**1.概要**

**（1）香川県三豊市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内6例目、11月7日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。**

**（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。**

**（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。**

**■***NEW***「令和6年度病害虫発生予報第9号」の発表について 2024/11/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/241113.html>

**■***NEW***北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2024/11/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241112.html>

　　本日（11月12日（火曜日））、北海道旭川市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内8例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：北海道旭川市

飼養状況：約4.4万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（11月11日（月曜日））、北海道は、道内旭川市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（11月12日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***北海道厚真町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内1例目）に係る移動制限の解除について　2024/11/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241111_1.html>

　　北海道は、道内厚真町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和6年11月11日（月曜日）午前0時（11月10日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）北海道は、令和6年10月17日に道内厚真町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）北海道は、令和6年11月1日に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、北海道は、発生農場の防疫措置が完了した令和6年10月20日の翌日から起算して21日が経過する令和6年11月11日（月曜日）午前0時（11月10日（日曜日）24時）をもって、移動制限を解除しました。

**■***NEW***新潟県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内5例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2024/11/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241111.html>

　　新潟県胎内市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内5例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）新潟県胎内市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内5例目、11月6日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***宮城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2024/11/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241110.html>

**本日（11月10日（日曜日））、宮城県石巻市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内7例目）されました。**

**これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。**

**1.農場の概要**

**所在地：宮城県石巻市**

**飼養状況：約12.4万羽（肉用鶏）**

**疫学関連農場：宮城県石巻市（1農場、約4.8万羽）**

**2.経緯**

**（1）昨日（11月9日（土曜日））、宮城県は、同県石巻市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。**

**（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。**

**（3）本日（11月10日（日曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。**

**■***NEW***国際シンポジウム「温帯林・亜寒帯林における生物多様性の保全と調和した林業経営とそのモニタリング」を開催します　2024/11/8**

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaigai/241108.html>

　　林野庁は、標題国際シンポジウムを12月9日（月曜日）に開催します。

林業経営及び生物多様性にご関心のある皆様のご参加をお待ちしております。

1.概要

世界の木材需要は2050年までに大幅に増加することが予測されています。しかしながら、気候変動の影響により、森林は病虫害や林野火災等の生物的・非生物的攪乱に対し脆弱になっており、林業経営において生物多様性を確保した多様で強靭な森林づくりの重要性が高まっています

この度、温帯林・亜寒帯林における持続可能な森林経営を支援するモントリオール・プロセスの参加国、関連国際機関等とともに、「生物多様性の保全と調和した林業経営」及びそのモニタリングについて考えます。

《モントリオール・プロセスとは》

持続可能な森林経営のための「基準・指標」の作成と適用を進める国際的な取組の1つで、カナダ、米国、メキシコ、アルゼンチン、チリ、ウルグアイ、豪州、ニュージーランド、中国、ロシア、韓国、日本の12ヵ国が参加。「基準・指標」の作成と改訂、指標に基づくデータの収集、2008年に改定された7基準54指標に即した国別報告書の作成等に取り組んでいる。

2.開催日時及び場所

日 時：令和6年12月9日（月曜日）13時00分から17時15分まで(予定)

場 所：九段会館テラス 3階 302-茜 (住所：東京都千代田区九段南1-6-5)

　　　 Web参加併用 (Zoomを使用、ただし視聴のみ)

3.プログラム (予定)

基調講演1「モントリオール・プロセスの目指す生物多様性の保全（仮）」

Ms.Rata Muda　ニュージーランド 第一次産業省 上級政策分析官

基調講演2「温帯林・亜寒帯林における森林生物多様性と林業経営」

佐藤 保

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究ディレクター(生物多様性・生物機能研究担当)

パネルディスカッション

テーマ1：モントリオール・プロセス参加国及び民間セクターにおける優良事例

　　　　　 (中国、オーストラリア、カナダ、ウルグアイ、野村不動産ホールディングス)

テーマ2：国際機関等における生物多様性の保全に関する視点

　　　　 (国連食糧農業機関(FAO)、国連森林フォーラム(UNFF)、FOREST EUROPE)

使用言語：日本語 / 英語（同時通訳)

4.申込方法

(1)申込方法及び申込締切

参加を希望される方は、下記リンク先からお申込みください。

会場：<https://forms.office.com/r/ZyuYhEViF3>

Web：<https://forms.office.com/r/usaYjpp8Ff>

申込み締切：令和6年12月2日（月曜日）17時00分まで

定員に達し次第、募集を締め切ります。（会場定員約50名、Web定員約200名）

申込みいただいた方には、ご登録いただいたメールアドレス宛てに確認メールを送付させていただきます。

(2)参加にあたっての留意事項

当シンポジウムの傍聴に当たり、次の留意事項を遵守願います。

(ア)Web参加の方は、マイクをミュートに設定すること。

(イ)以下の行為を慎むこと。

・ビデオカメラ、ICレコーダー等の使用（報道関係者の方々を除く。）

・シンポジウムの進行を妨げる行為を行わないこと

(ウ)その他、司会進行及び担当者等の指示に従うこと。

**6.シンポジウムWebサイト**

**本シンポジウムのWebサイトは以下になります。(随時更新)**

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/kaigai/sympo2024.html>

**■香川県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2024/11/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241107_1.html>

　本日（11月7日（木曜日））、香川県三豊市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内6例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：香川県三豊市

飼養状況：約4.2万羽（採卵鶏）

疫学関連農場：香川県観音寺市（1農場、約2.8万羽）

2.経緯

（1）本日（11月7日（木曜日））、香川県は、同県三豊市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）同日、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■英国からの生きた家きん、家きん肉等の輸入一時停止措置について　2024/11/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241106_1.html>

　　農林水産省は、11月6日（水曜日）に英国のイースト・ライディング・オブ・ヨークシャー州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入一時停止措置を講じました。

1.経緯

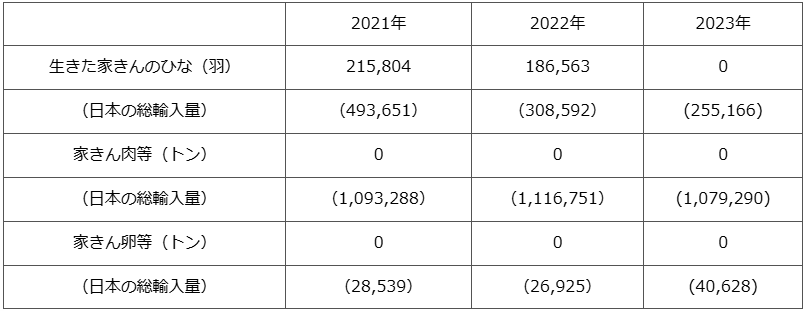
英国のイースト・ライディング・オブ・ヨークシャー州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N5亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から発表がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局の発表を受け、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和6年11月6日（水曜日）にイースト・ライディング・オブ・ヨークシャー州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

（参考）英国からの生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入実績



**出典：財務省「貿易統計」**

**これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。**

**動物検疫所：**<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■新潟県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2024/11/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241106.html>

　本日（11月6日（水曜日））、新潟県胎内市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内5例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：新潟県胎内市

飼養状況：約35万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（11月5日（火曜日））、新潟県は、同県胎内市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（11月6日（水曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■島根県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内4例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2024/11/5**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241105_1.html>

　　島根県大田市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内4例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）島根県大田市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内4例目、10月31日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■トルコからの家きん肉等の輸入一時停止措置について　2024/11/5**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241105.html>

　農林水産省は、11月5日（火曜日）にトルコからの家きん肉等の輸入一時停止措置を講じました。

1.経緯

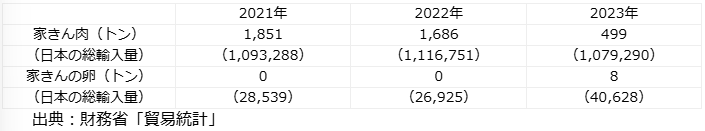
トルコの家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、トルコ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（WOAH）に通報がありました。

2.対応

本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和6年11月5日（火曜日）にトルコからの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

（参考）トルコからの家きん肉等の輸入実績



**これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。**

**動物検疫所：**<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■愛媛県における豚熱の患畜の確認（国内94例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について　2024/11/1**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241101.html>

　　本日、愛媛県四国中央市の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け、農林水産省は「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.発生農場の概要

所在地：愛媛県四国中央市

飼養状況：約60頭

2.経緯

（1）愛媛県は、昨日（10月31日（木曜日））、同県四国中央市の農場において離乳豚及び肥育豚の死亡の増加がみられる旨の通報があったため、当該農場に立ち入り、検査を実施しました。

（2）愛媛県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（11月1日（金曜日））、豚熱の患畜であることが判明しました。

**■全国ジビエフェアを開催します！　2024/11/1**

**～ジビエの季節がやってきました！～**

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/241101.html>

　農林水産省は、ジビエ（野生鳥獣肉）の普及、需要拡大に向け、全国ジビエフェアを開催します。ジビエメニューを提供する全国の飲食店やご当地フェア等の情報を特設サイトで紹介していますので、この機会にぜひジビエを楽しんでみてください。

**1.全国ジビエフェアについて**

**農作物の鳥獣被害防止対策等のための鳥獣捕獲が増加する中、捕獲した野生鳥獣を地域資源ととらえ、ジビエとして有効活用する取組が全国で拡大しています。このような中、農林水産省は国産ジビエの認知向上、普及、需要拡大に取り組んでいます。**

**「全国ジビエフェア」では、日本全国のジビエを取り扱う事業者に参加を募り、特設サイトにおいて、フェア期間中にジビエメニューを提供する飲食店、宿泊施設、ジビエ等商品（精肉加工品、ペットフード、皮革製品等）を販売する小売店、ECサイトの情報をとりまとめ、ご紹介します。また、特設サイト内に特集ページを設け、様々なジビエの楽しみ方をご提案します。**

**さらに、各地域のご当地ジビエフェア情報やイベント情報なども多数ご紹介し、どこに行けばどんなジビエが食べられるのか、どこで買えるのかなどの情報提供を行うことで、ジビエを食べたい！買いたい！という機運を盛り上げ、ジビエの消費拡大を図ります。（事業実施主体：株式会社ぐるなび）**

**2.開催時期　令和6年11月1日（金曜日）から令和7年2月28日（金曜日）まで**

**3.全国ジビエフェア特設サイト**

**「全国ジビエフェア」の特設サイト（**<https://www.gibier-fair.jp/>**)で、ジビエの魅力やジビエメニューの食べられるお店・ジビエ等商品の買えるお店の情報が検索できます。参加店は随時追加・更新されます。（※フェア期間中も参加店舗を募集しています。）**

**＜特設サイト掲載内容＞**

**おそとでジビ活（飲食店情報）**

**おうちでジビ活（精肉、加工品（食品）、皮革等製品及びペット用品の小売店情報。ECサイトを含む。）**

**全国のジビエ関連イベント情報**

**ご当地ジビエフェア（都道府県や地域で開催されるジビエ料理フェア情報等）**

**特集（予定）「宴会で楽しむジビエ」「気軽に楽しむジビエ」「コースで楽しむジビエ」等**

**お問合せ先**

**農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課　担当者：矢永、清水**

**代表：03-3502-8111（内線5502）ダイヤルイン：03-6744-7176**

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**★***Link***紅麹関連の情報**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/036992>

**■***NEW***大正製薬株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2024/11/13**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_241113_01.pdf>

　　消費者庁は、本日、大正製薬株式会社に対し、同社が供給する「ＮＭＮ ｔａｉｓｈｏ」と称するサプリメントに係る表示について、景品表示法に違反する行為（同法第５条第３号（ステルスマーケティング告示）に該当）が認められたことから、同法第７条第１項の規定に基づき、措置命令（別添参照）を行いました。

　１ 違反行為者の概要

名称　大正製薬株式会社（以下「大正製薬」という。）（法人番号 4013301006867）

所 在 地　東京都豊島区高田三丁目２４番１号

２ 措置命令の概要

1. 対象商品　「ＮＭＮ ｔａｉｓｈｏ」と称するサプリメント（以下「本件商品」という。
2. 対象表示

ア 表示の概要

(ｱ) 表示媒体

「大正製薬ダイレクトオンラインショップ」と称する自社ウェブサイト（以下「自社ウェブサイト」という。）

(ｲ) 表示期間 令和６年４月３日及び同月１９日から同年５月２２日までの間

(ｳ) 表示内容（別紙）

第三者に対し、本件商品の無償提供及び対価の提供を条件に、本件商品に関して「Ｉｎｓｔａｇｒａｍ」と称するＳＮＳ（以下「Ｉｎｓｔａｇｒａｍ」という。）に投稿を依頼したことなどによって当該第三が投稿した表示について、一部を抜粋して、令和６年４月３日及び同月１９日から同年５月２２日までの間、自社ウェブサイトにおいて、例えば、「Ｉｎｓｔａｇｒａｍで注目度上昇中⤴」、「品質にこだわりたい方には特許処方の大正製薬『ＮＭＮ ｔａｉｓｈｏ』」、「様」、本件商品を持つ人物の画像及び「いくつになっても自分らしく、ʻʼ今が最高ʻʼと思える活き活きとした日々を過ごしていきたいですね！」等と、別表「表示内容」欄記載のとおり表示していたことから、大正製薬は、本件商品に係る同表「表示内容」欄記載の表示内容の決定に関与しているものであり、当該表示は、大正製薬が自己の供給する本件商品の取引について行う表示（以下「事業者の表示」という。）であると認められる。

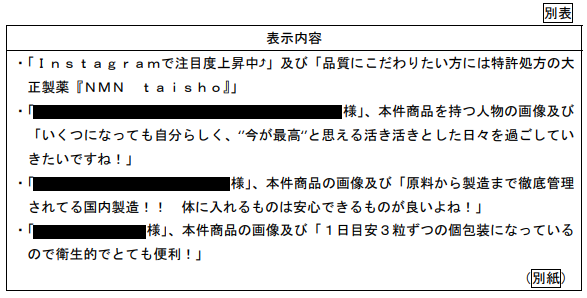
イ 前記アの表示は、第三者が投稿した表示について、大正製薬が当該第三者に対して依頼した投稿であることを明らかにしておらず、表示内容全体から一般消費者にとって事業者の表示であることが明瞭になっているとは認められないことから、当該表示は、一般消費者が事業者の表示であることを判別することが困難であると認められる表示に該当するものであった。

⑶ 命令の概要

ア 前記⑵アの表示は、前記⑵イのとおりであって、本件商品の取引に関する事項について一般消費者に誤認されるおそれがあるものであり、景品表示法に違反するものである旨を一般消費者に周知徹底すること。

イ 再発防止策を講じて、これを役員及び従業員に周知徹底すること。

ウ 今後、同様の表示を行わないこと。



以下省略

**■PIO-NETデータを用いた消費生活相談の地域傾向分析　2024/11/8**

[https://www.caa.go.jp/policies/future/icprc/research\_004/contents\_001/#202411](https://www.caa.go.jp/policies/future/icprc/research_004/contents_001/%23202411)

**■通信販売業者【株式会社マーキュリー】に対する行政処分について　2024/11/1**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/039874/>

　　消費者庁が特定商取引法に基づく行政処分を実施しましたので公表します。

詳細

消費者庁は、薬用歯磨き等を販売する通信販売業者である株式会社マーキュリー(本店所在地:東京都渋谷区)(以下「マーキュリー」といいます。)(注)に対し、令和6年10月31日、特定商取引法第15条第1項の規定に基づき、令和6年11月1日から令和7年1月31日までの3か月間、通信販売に関する業務の一部(広告、申込受付及び契約締結)を停止するよう命じました。

(注)同名の別会社と間違えないよう会社所在地なども確認してください。

あわせて、消費者庁は、マーキュリーに対し、特定商取引法第14条第1項の規定に基づき、法令遵守体制の整備その他の再発防止策を講ずることなどを指示しました。

また、消費者庁は、マーキュリーの代表取締役である浅川 浩孝(あさかわ ひろたか)に対し、特定商取引法第15条の2第1項の規定に基づき、令和6年11月1日から令和7年1月31日までの3か月間、マーキュリーに対して前記業務停止命令により業務の停止を命ずる範囲の業務を新たに開始すること(当該業務を営む法人の当該業務を担当する役員となることを含みます。)の禁止を命じました。

公表資料

通信販売業者【株式会社マーキュリー】に対する行政処分について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_transaction_cms203_241101_01.pdf>

**■「コーデックス委員会を理解する-食品衛生基準行政の移管を機に」　2024/11/1**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/039907/>

　　消費者庁は、食品衛生基準行政推進調査事業「食品行政における国際整合性の確保と食品分野の国際動向に関する研究」研究班等との共催で、シンポジウム「コーデックス委員会を理解する-食品衛生基準行政の移管を機に」を開催します。

詳細

食品の安全を守る仕組みは、「リスク評価」、「リスク管理」、「リスクコミュニケーション」の3要素から構成されています。我が国では、リスク評価機関(食品安全委員会)とリスク管理機関(厚生労働省、農林水産省、消費者庁、環境省等)がそれぞれ独立して業務を行いながらも、相互に連携しつつ、食品の安全性を確保するための取組を推進しています。

こうした中で、コーデックス委員会※は、食品の安全性と品質に関して国際的な基準を定めており、各国の食品の基準は、この国際基準との調和を図るよう推奨されています。また、食料、保健、気候変動、プラスチック汚染対策など、地球規模課題に関するルール形成・強化を進める必要があります。

今回のシンポジウムは、食品の衛生・基準行政が消費者庁に移管されたことに伴い、食品安全確保をするうえでの国際食品規格の重要性について改めて消費者とともに考えることを目的として開催します。特に、消費者の関心の高い課題(食品添加物、残留農薬、食品残留動物用医薬品食品汚染物質)を取り扱う部会への参加者から実際の現場の議論を紹介し、国際規格の重要性、その策定機関であるコーデックス委員会について理解を深めるための議論を行います。

※コーデックス委員会は、1963 年にFAO(国連食糧農業機関)とWHO(世界保健機関)が合同で設立した政府間組織です。消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を保証するために、国際標準となる食品の規格(コーデックス規格)や基準・ガイドラインなどを定めています

【シンポジウム開催概要】

1.開催日時　令和6年11月19日(火) 13:30～16:00

2.開催形式　オンライン開催(Zoomウェビナー、YouTube配信)　※事前申し込みが必要です。

3.主催

食品衛生基準行政推進調査事業「食品行政における国際整合性の確保と食品分野の国際動向に関する研究」​研究班(代表:国立医薬品食品衛生研究所 渡邉 敬浩)

4.共催

消費者庁、食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、東京大学未来ビジョン研究センター

5.定員　350人(先着順)

6.申し込み方法

以下のイベント案内ページ(東京大学未来ビジョン研究センター ウェブサイト)から、お申し込みフォームに必要事項を記入してお申し込みください。(定員に達し次第、受付を終了します)

<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event/18885/>

7.プログラム内容

プレスリリース参照

公表資料

プレスリリース　<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms203_241101_01.pdf>

関連リンク

イベント案内ページ(東京大学未来ビジョン研究センター ウェブサイト)

<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event/18885/>

問合せ先

消費者庁消費者安全課　保科・高橋・長谷部　電話番号 03-3507-8800

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）★紅麹関連**

**★兵庫県手延素麺協同組合「手延そうめん 揖保乃糸 上級 300g」 - 交換／回収　外袋裏面の賞味期限等の印字不良（本来の賞味期限：2026年9月）　2024/11/14**

**★松山青果株式会社「ほうれんそう」 - 回収　トルフェンピラドが基準値を超えて検出（検出値：0.97ppm、基準値：0.01ppm）　2024/11/14**

**★ケントメリーシフォンケーキ「シフォンケーキ（バニラ、チョコ、バナナ、紅茶、ラズベリー）」（ゆめマート3店舗で販売） - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：24.12.12、正：24.11.12）　2024/11/14**

**★サンエー「味付け大根」 - 返金／回収　要冷蔵商品（保存温度10℃以下）を常温で陳列・販売　2024/11/14**

**★良品計画（青木島ショッピングパーク店）「すぐ使える緑の野菜、ほか」 - 返金／回収　保存温度の逸脱（-18℃以下で販売すべき商品を-12℃～1℃の温度帯で販売）　2024/11/13**

**★わざわざ「ふつうのクッキー」 - 返金／回収　ステンレス製金属片が商品に混入した可能性があるため　2024/11/13**

**★南目製粉「餅とり粉」 - 交換／回収　異物混入（米虫）　2024/11/13**

**★カネトシ「枯木ゆずぽんず、実生ゆずぽんず」 - 返金／回収　国産大豆と国産小麦の割合の誤表示　2024/11/13**

**★ローソン（九州地区全域）「ささみフライ 梅しそ味」（店内調理品） - 返金／回収　アレルゲン「豚肉」の表示欠落　2024/11/13**

**★Airgead「カカオケーキキャラメル林檎」（松屋銀座B1階催事場で販売） - 交換／回収　賞味期限の誤表示（誤：25.11.19、正：24.11.19）　2024/11/12**

**★荒木洋一「白菜キムチ（刻み）、大根キムチ」 - 返金／回収　アレルゲン「えび」の表示欠落　2024/11/12**

**★BANDAI SPIRITS「一番くじ スーパーマリオ みんなでホームパーティー：C賞「スーパーキノコのフライパン」」 - 交換／回収　熱をかけた際にひいた油が変色する事象が発生　2024/11/11**

**★朝日商事「いわし醤油煮」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、大豆を含む」の表示欠落　2024/11/11**

**★ながの東急百貨店「狭山茶 深蒸し茶（国産）」 - 交換／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：25.5.20）　2024/11/11**

**★ヤマナカ「フジッコ おばんざい小鉢（うの花、ひじき煮、きんぴら、切干大根）」（汐田フランテ館で販売） - 返金／回収　要冷蔵商品を非冷蔵場所で販売　2024/11/8**

**★コルドンヴェール「ヘルスワイズ ブラックペッパー ミル付」 - 返金／回収　プラスチック片が混入　2024/11/8**

**★井村屋「チョコレート：パレ・ヴァニーユ、ほか」 - 返金／回収　使用基準で認められていない着色料（三酸化二鉄）を使用　2024/11/7**

**★北辰水産（テラスモール松戸店）「しらす干し」 - 返金／回収　フグ稚魚のおそれのある魚が混入していたことが判明　2024/11/7**

**★善幸「キムチ鍋（レンジ用）」（スーパーマーケットさとうで販売） - 返金／回収　アレルゲン「卵、さば、さけ」の表示欠落　2024/11/7**

**★上越福祉会「南葉山麓かなや味噌」 - 返金／回収　異物混入のおそれ（充填機のパッキン）　2024/11/7**

**★ローヤル製菓「黒糖風味鈴カステラ」 - 交換／回収　アレルゲン「大豆」の表示欠落　2024/11/7**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■：行政発表が見つからなかったもの　　■：行政発表**

**★細菌性食中毒★**

**■神戸少年鑑別所の入所者ら44人食中毒　阪神間6市の施設・事業所で　尼崎の飲食業者の弁当が原因　11/8(金) 21:15配信　神戸新聞NEXT****兵庫県尼崎市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e136aab133b5a8aeddf66b4940aadf5b785731e1>

**食中毒事件の発生について　令和６年１１月８日　生活衛生課　兵庫県尼崎市**

**調査中**

<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/039/790/241108-02.pdf>

（概 要）

令和６年１１月７日（木）午前１０時３０分頃、尼崎市内の福祉施設の従業員から、「数か所ある系列福祉施設の利用者のうち１１人が昨夜から下痢、嘔吐及び発熱等の症状を呈している。直近の共通食は５日と６日の昼食で喫食した尼崎市内の弁当製造施設から配達された弁当のみである。」との一報が尼崎市保健所にあった。また同日午前１１時頃、神戸市保健所より「『尼崎市内の弁当製造施設で製造された弁当を喫食した複数の施設から、下痢、腹痛及び発熱等の症状を呈している。』との連絡を受けている。」との一報が尼崎市保健所にあった。

尼崎市保健所で調査を行ったところ、１１月５日から１１月６日までに市内の弁当製造施設が製造した弁当を喫食した複数グループの喫食者において、複数人が下痢、腹痛及び発熱等の症状を呈していることが判明した。

これら有症者に共通する食事は、当該施設が製造した弁当以外にないこと、有症者の発症状況が類似していること、他に感染症を疑う事象がないこと、調理従事者に有症者と同様の症状を呈する体調不良者がいたことから、当該施設が製造した弁当を原因とする食中毒と断定し、本日、施設に対して営業停止処分を行った。

１ 発生年月日（初発）　令和６年１１月６日（水）午後４時半

２ 摂食者数　調査中

３ 有症者数　４４人（１１月８日午後４時時点）

４ 死亡者　０人 (１１月８日午後４時時点)

５ 主な症状　下痢、嘔吐及び発熱等

６ 原因食品　１１月５日(火)から１１月６日(水)までに原因施設が製造した弁当

７ 原因施設

＜施設所在地＞ 尼崎市内

＜施 設 名＞ ●●●●●

＜業 種＞ 飲食店営業

８ 病因物質　調査中

９ 潜伏時間　調査中

10 処分内容　営業停止処分（１１月８日から３日間）

**■高校の文化祭で”焼きそば”商品販売→食べた１９人が下痢・発熱などの症状→北九州市が食中毒の可能性視野に調査　2024年10月31日(木) 09:26　TBS NEWS DIG**

**福岡県北九州市**

**調査中**

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1519344?display=1>

**高校の文化祭で”焼きそば”商品販売→食べた19人が下痢・発熱などの症状→北九州市が食中毒の可能性視野に調査　10/29(火) 18:28配信　RKB毎日放送　福岡県北九州市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8f2d90dcb77ddc0b28f5f27b2c8a43cb61b5a7c6>

**焼きそばで体調不良　北九州市の高校で食中毒疑い　10/29(火) 17:45配信　九州朝日放送**

**福岡県北九州市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4cb87caff3829e680a0aea4373407495eb0af39f>

**■船橋の飲食店で食中毒　鶏レバーなど焼き鳥食べ５人症状　カンピロバクター属菌検出**

**2024年11月15日 05:00　千葉日報　千葉県船橋市**

**カンピロバクター**

<https://www.chibanippo.co.jp/news/national/1302160>

**食中毒の発生について　令和6(2024)年11月14日（木曜日） ページID：P105822**

**千葉県船橋市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kenkou/eisei/001/p105822.html>

探知

令和6年11月7日(木曜日)に、札幌市保健所から「10月31日(水曜日)に市内事業所の従業員が船橋市内の焼き鳥店を13人で利用した後、5人が胃腸炎症状を示し、うち4人が入院した。発症者の検便の結果、カンピロバクターが検出された。」との連絡があった。

概要

これまでの調査の結果、10月31日(木曜日)に飲食店「鳥照」を利用し、鶏レバー串などを喫食した1グループ13人中5人が、11月2日(土曜日)から順次下痢、発熱などの食中毒症状を示し、医療機関を受診していた。

発症者5人のうち2人の便からカンピロバクター属菌が検出されたこと、発症者の症状がカンピロバクター属菌による症状と一致すること、診察した医師から食中毒患者等届出票が提出されたこと、発症者には職場の弁当など他の共通喫食があったものの、提供施設及び他の喫食者について調査を実施したところ、他に体調不良等の情報はなかったことから、本日、船橋市保健所長は当該飲食店を原因施設とする食中毒と断定し、当該飲食店の営業停止処分を行った。

なお、入院した4人は退院し、全員が回復傾向にある。

1　喫食者数 13人

2　発症者数 5人（10～40歳代男性）

3　主な症状 下痢、発熱など

4　発症年月日 令和6年11月2日（土曜日）

5　原因施設

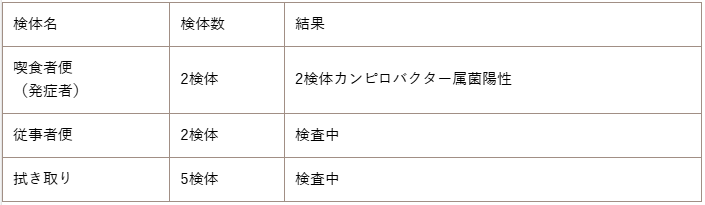
所在地：船橋市

　　　屋　号：鳥照（とりしょう）

　　　業　種：飲食店営業

6　原因食品 当該施設で提供された食事（鶏レバー串など）

7　検査



8　病因物質 カンピロバクター属菌

9　行政措置 営業停止2日間

　　11月14日（木曜日）から11月15日（金曜日）まで

　　※なお、当該施設は、11月13日（水曜日）から営業を自粛しています。

船橋市における食中毒発生状況

・令和6年度　発生件数 4件、患者 111人（＊本件を含まず）

・令和5年度　発生件数 8件、患者 35人

・令和4年度　発生件数 10件、患者 151人

**■２人からカンピロバクター　金沢の料理店、食中毒　３日間営業停止　11/8(金) 5:02配信**

**北國新聞社　石川県金沢市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/609d34ebdfed28160c986022dbe9022f78dc76c8>

**60代から70代の男性客が腹痛や下痢の症状…金沢の居酒屋で食中毒 便からカンピロバクター検出　11/7(木) 19:17配信　MRO北陸放送****石川県金沢市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9c32eff93a6c55f67a1804f79d0f46e1f161e715>

**あぶった牛レバーで食中毒か？3人が下痢や発熱の症状を訴え金沢の飲食店を3日間の営業停止処分　11/7(木) 18:25配信　石川テレビ****石川県金沢市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e19a271ad13c1e3a2c725a233a5fbac304a57116>

**■食中毒の発生状況-令和6年　2024/10/20　山形県天童市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuchuudoku/r6jokyou.html>

　発生年月日　2024/10/20

　探知年月日　2024年10月24日

　原因施設所在地(患者の所在地)　天童市

　摂食者数　3

　患者数　2

　原因施設　飲食店

　原因食品　不明(10月18日に原因施設が提供した食事）

　病因物質　カンピロバクター

**■食中毒が発生しました　2024年11月13日 18時45分　生活衛生課　福岡県田川市**

**サルモネラ菌**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20241113.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/236263.pdf>

　１１月８日（金）に食中毒（疑い）として資料提供した件について、その後の情報を提供します 。第2報

１　事件の探知

　　　令和６年１１月６日（水）、宮崎県宮崎市の住民から、田川市内の飲食店を利用したところ食中毒様症状を呈し、医療機関を受診した旨、田川保健福祉事務所に連絡があった。

　また、翌７日（木）、田川郡の住民からも、同飲食店を利用したところ食中毒様症状を呈し、医療機関を受診した旨、同事務所に連絡があった。

２　概要

　田川保健福祉事務所は、疫学調査及び有症者便等の検査の結果から、本件を食中毒と断定した。

３　発生日時　令和６年１１月１日（金）　２１時００分頃（初発）

４　摂食者数　４名

５　症状　発熱、腹痛、下痢等

６　有症者数　３名

　３名のうち３名が医療機関を受診しているが、入院はしておらず、重篤な症状を呈した者はいない。



　７　原因施設、原因食品、病因物質

　（１）原因施設

　　　　屋　号：雲うん龍りゅう

　　　業　種：飲食店営業（一般食堂）

　　　所在地：田川市

（２）原因食品

１１月１日（金）及び２日（土）に提供されたラーメン（具材：チャーシュー、きくらげ、ネギ）

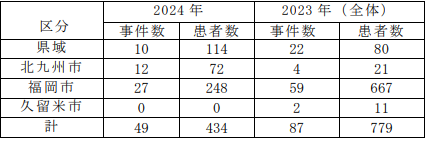
（３）病因物質　サルモネラ属菌

８　検査

​　　　有症者便、従事者便及び施設拭き取り検体（調理器具）からサルモネラ属菌を検出した。

９　措置　営業停止処分：３日間（１１月１３日～１５日）

10　その他　当該施設は１１月１１日（月）から自主休業している。

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１１月１３日現在。調査中の事件（本件を含む。）を除く。）

**■小諸市の幼稚園で園児と職員３２人が食中毒…サルモネラ属菌が原因 全員快方に向かう【長野】**

**11/13(水) 12:09配信　テレビ信州　長野県小諸市**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1f3698e04f1457e966a73a9b65d2f35319e46b37>

**認定こども園でサルモネラ属菌による食中毒が発生　園児など32人が下痢などの症状を訴え【長野・小諸市】11/13(水) 11:26配信　abn長野朝日放送****長野県小諸市**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a422a079211189621d2b1b58da68f0c279284042>

**認定こども園で食中毒　園児と職員32人が下痢や発熱、腹痛などの症状…「サルモネラ属菌」が検出　給食の供給停止3日間　提供された食事のメニューは?　11/12(火) 20:28配信**

**ＳＢＣ信越放送****長野県小諸市**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9a5f8cca4ee35f24368309f489c71acbef2a52b5>

**【速報】認定こども園の給食で「サルモネラ属菌」による食中毒　園児28人、職員4人から下痢、発熱、腹痛などの症状　11/12(火) 20:09配信　NBS長野放送****長野県小諸市**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0088c21d9baa88c2008c8015db39096bf9a62dc1>

**佐久保健所管内の認定こども園でサルモネラ属菌による食中毒が発生しました**

**長野県（健康福祉部）プレスリリース令和6年（2024年）11月12日　長野県小諸市**

**サルモネラ菌**

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/ch241112.html>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/documents/ch241112.pdf>

本日、佐久保健所は小諸市内の認定こども園「学校法人信濃キリスト教学園 幼保連携型認定こども園 小諸幼稚園」を食中毒の原因施設と断定し、当該施設に対し令和６年 11 月 12 日から令和６年 11 月 14 日まで、３日間の給食の供給の停止を命じました。患者らは、当該施設が調理、提供した給食を喫食した園児及び職員 94名中の 32 名で、行政検査により、患者便及び調理従事者便からサルモネラ属菌が検出されました。

なお、患者は全員快方に向かっています。

　【事件の探知】

令和６年 11 月５日午後５時ごろ、医療機関から「胃腸炎症状を訴え受診した患者の便検査を実施したところ、サルモネラ属菌が検出された。」旨の連絡が佐久保健所にありました。

【佐久保健所による調査結果概要】

○当該施設で 10 月 28 日から 29 日に調理、提供された食事を喫食した 94 名中 32 名が、10 月 29 日から、下痢、発熱、腹痛などの症状を呈しました。

○患者は、当該施設で調理、提供された食事を共通して喫食していました。

○長野保健所が行った検査により、患者便および調理従事者便からサルモネラ属菌が検出されました。

○患者の発症状況は、サルモネラ属菌による食中毒の症状と一致していました。

○患者を診察した医師から、食中毒の届出がありました。

○これらのことから、佐久保健所は当該施設で調理、提供された食事を原因とする食中毒と断定しました。

患者関係

　発症日時　10 月 29 日 午後４時頃から

患者症状　下痢、発熱、腹痛など

患者所在地　佐久市、小諸市、北佐久郡、東御市

患者数及び喫食者数

患者数／喫食者数：32 名／94 名

（患者内訳）男性：13 名（年齢：10 歳未満）

　　　　　　　 女性：19 名（年齢：10 歳未満～50 歳代）

入院患者数　なし

医療機関受診者数　21 名（受診医療機関数：９か所）

原因食品　10 月 28 日から 29 日に当該施設で調理、提供された食事

病因物質　サルモネラ属菌

原因施設

施設名　学校法人信濃キリスト教学園　幼保連携型認定こども園 小諸幼稚園

施設所在地　小諸市

営業届出業種　集団給食施設

措置　食品衛生法に基づく給食の供給の停止

令和６年 11 月 12 日から令和６年 11 月 14 日まで３日間

検査結果　サルモネラ属菌

患者便：９検体中６検体から検出

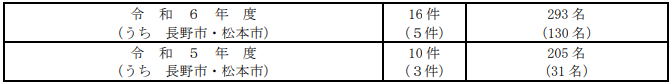
調理従事者便：４検体中４検体から検出

［参 考］

　患者へ提供されたメニュー

ごはん、くずし豆腐汁、さわらの西京焼き、ほうれん草とシラスのおひたし、りんご、牛乳、せんべい、青のりポテト、ちゃんぽんラーメン、きゅうりの塩もみ、バナナ、かぼちゃ蒸しパン

［参 考］長野県内（長野市・松本市含む）における食中毒発生状況（本件含む）



**■高齢者施設で食中毒 120人以上が体調不良訴える 神奈川・藤沢市　11/3(日) 8:12配信**

**ABEMA TIMES　神奈川県藤沢市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4add76101c9deb52d770f26b929d9d32ace21236>

**高齢者施設で120人以上が食中毒　原因は「ウエルシュ菌」か　神奈川・藤沢市**

**11/3(日) 6:23配信　テレビ朝日系（ANN）****神奈川県藤沢市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/587ed5bb90319a4e41be932cba52a3d764b5e8a5>

**★ウイルスによる食中毒★**

**■阿見町の事業者の弁当で２９人下痢など症状 ノロウイルス検出　11月08日　20時48分**

**茨城 NEWS WEB　茨城県阿見町**

**ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/mito/20241108/1070025748.html>

**無許可営業店の弁当で食中毒の症状29人、ノロウイルスを検出　茨城**

**11/8(金) 19:28配信　朝日新聞デジタル　茨城県阿見町**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/230ffaa41e0c11e6f62a3ef5e86f9c15220a0b51>

**食中毒発生概況について　令和６年１１月８日（金）　保健医療部生活衛生課食の安全対策室**

**茨城県阿見町**

**ノロウイルス**<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/eisei/documents/hasseigaikyou.pdf>

１ 探知

令和６年１１月５日（火）午後１時３０分時頃、阿見町内の弁当製造施設の営業者から土浦保健所に「弁当を提供した事業所で１１月２日（土）から複数名が体調不良を呈している。」旨の連絡があった。

２ 事件の概況

施設を管轄する竜ケ崎保健所の調査によると、阿見町内の施設（自宅台所）で製造された弁当を食べた３グループ３６名中２９名が１１月２日（土）正午頃から発熱、下痢等の食中毒様症状を呈し、１１名が医療機関を受診していることが判明した。

竜ケ崎保健所は、患者らの共通食が当該施設に限られること、調理従事者１名及び患者２６名の便、施設の拭き取り1検体からノロウイルスが検出されたこと、患者の症状及び潜伏期間がノロウイルスによるものと一致したこと、医療機関から食中毒患者届出票が提出されたことから、本日、当該施設が提供した弁当を原因とする食中毒と断定した。

なお、患者はいずれも快方に向かっている。

また、営業者は自宅台所で弁当を製造し、食品衛生法に基づく営業許可を取得していなかった。

３ 原因施設

屋 号：仕出し弁当 大樹

所在地：稲敷郡阿見町

業 種：飲食店営業（無許可）

４ 原因となった食事

11月１日（金）に提供した弁当

（白菜と豚の炒め物、きんぴらごぼう、切り干し大根のサラダ、ご飯、漬物、みそ汁）

５ 病因物質　ノロウイルスＧⅡ

６ 発生日時　令和６年１１月２日（土）正午頃から

７ 摂食者数　３６名（男性３５名 ２０歳代～６０歳代、女性 1 名 ５０歳代）

８ 患者数　２９名（男性２９名 ２０歳代～６０歳代）

９ 主症状　発熱、下痢、腹痛等

１０ 検査状況　拭き取り：１５検体

検 便：２９検体（患者：２８検体、調理従事者：１検体）

結 果：県衛生研究所が検査した結果、患者便２６検体、調理従事者便１検体及び施設拭き取り 1 検体からノロウイルス GⅡが検出された。

１１ その他 営業者は１１月５日から保健所の指導に従い、営業行為を行っていない。

【参考】 茨城県内（水戸市を含む）のノロウイルスによる食中毒発生状況



**★寄生虫による食中毒★**

**■**

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■【発赤、頭痛、悪寒の症状】新潟県佐渡市の水産加工品「あじ・みりん干し」からヒスタミンによる食中毒が発生、うさみ商店に営業停止処分　2024-11-09　にいがた経済新聞**

**新潟県佐渡市**

**ヒスタミン**

<https://www.niikei.jp/1274058/>

**「干物」を食べた2人の顔に赤みや頭痛などの症状　「ヒスタミン」の食中毒と断定　新潟**

**11/9(土) 18:34配信　ＢＳＮ新潟放送　新潟県佐渡市**

**ヒスタミン**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/02d9f9666238a0ba76ea8377a58f4d12c8514a66>

**佐渡市内の水産製品製造施設でヒスタミンによる食中毒が発生しました**

**ページ番号：0704494 更新日：2024年11月9日更新　新潟県佐渡市**

**ヒスタミン**

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seikatueisei/20241109.html>

発生概要

　　11 月6日午後5時半頃、大阪府から当県へ、佐渡市内「うさみ商店」が発送した魚介類の干物「あじ・みりん干し」を大阪府内の自宅で喫食した2人中2人が、発赤（皮膚が赤くなること）、頭痛、悪寒等のアレルギー様症状を呈した旨の連絡があった。

　また、大阪府による検査で、患者宅に残っていた当該干物の調理済品及び未調理品から食中毒の原因となるヒスタミンが、調理済品からは5,000μg/g、未調理品からは4,400μg/g 検出された。

　佐渡保健所が調査した結果、当該干物は10 月11 日に「うさみ商店」が製造したものであり、調査を行うことができた購入者4グループ8人のうち、11 月3日及び6日に当該干物を喫食した2グループ6人中、2グループ3人が喫食後1時間以内に発赤、頭痛、悪寒等の症状を呈していたことが判明した。

　　同所は、患者全員が同施設で製造された当該干物を喫食していること、患者宅に残っていた干物から、内閣府食品安全委員会が一般的に発症するとしている1,000μg/g 以上の4～5倍となるヒスタミンが検出されたこと、医師から食中毒の届出があったことから、同施設が製造した「あじ・みりん干し」を原因とする食中毒と断定した。

なお、患者は全員回復している。

　患者の状況

　　摂食者数　6人

患者数　3人　（男性1人 50歳代　女性2人 10歳代、50歳代）

治療を受けた者　0人

入院した者　0人

症状　発赤、頭痛、悪寒等

原因施設

　名称 うさみ商店

所在地　佐渡市

業種 水産製品製造業

　原因食事　「うさみ商店」が10月11日に製造した「あじ・みりん干し」

病因物質　ヒスタミン

検査

　検査検体　食品

検査項目　ヒスタミン

　行政措置　佐渡保健所は原因施設に対して次の措置を実施した。

・営業停止処分　11月9日から11日まで（3日間）（11月8日の1日間営業自粛）

・従事者に対して衛生教育を実施予定

　■令和6年新潟県内食中毒発生状況（※本日発表分を含む）



　【ヒスタミンによる食中毒について】

○　特徴

ヒスタミンは、アミノ酸の一種である「ヒスチジン」から、ヒスタミン産生菌の酵素の働きにより生成されます。

ヒスタミン産生菌は、海水中に存在し、漁獲時にすでに魚類に付着していることがあります。

ヒスチジンは魚類に含まれ、ヒスチジンを多く含む魚を常温で放置する等、不適切な温度管理を行うとヒスタミン産生菌が増殖し、ヒスタミンが生成されます。

魚類の中でも赤身魚(サバ類、カツオ類、マグロ類、サンマなど)にヒスチジンが多く含まれ、その加工品が主な原因食品として報告されています。

ヒスタミンは、一度生成されると、加熱しても減りません。

○　症状

食べた直後から1時間以内に、顔面、特に口の周りや耳たぶが紅潮し、頭痛、じんましん、発熱などを引き起こします。

○　予防方法

魚を捕獲してから食べるまでの一貫した温度管理が重要です。

特に赤身魚を購入した際は、常温に放置せず、速やかに冷蔵庫で保管し、できるだけ早く食べましょう。

**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌感染症が発生しました　令和６年１１月１２日　疾病感染症対策課　岡山県**

**感染症　腸管出血性大腸菌Ｏ１４５**

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/944645_9061628_misc.pdf>

　発生場所　美作保健所管内

患 者　１名（男、２０歳代）

発症年月日　令和６年１１月３日

速報年月日　令和６年１１月１２日

措 置そ の 他

○患者は１１月３日から水様性下痢、腹痛の症状があった。

○１１月６日に医療機関を受診し、検査を実施したところ、１１月１０日にベロ毒素産生性腸管出血性大腸菌Ｏ１４５による感染症と確認されたため、届出があった。

○症状は回復傾向にある。

○接触者については、現在調査中である。

備 考

現在、県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令中です。

患者等累計（本件を含む）

本年５９名

（参考）令和５年 １０４名

**■レジオネラ属菌を検出「草枕温泉てんすい」営業自粛　11/8(金) 11:58配信**

**KAB熊本朝日放送　熊本県玉名市**

**レジオネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/941a350a04485d61d23cb274fc6a116788c18de2>

**■結核集団感染　島根県出雲市の事業所などで36人感染　うち2人が発症・治療**

**11/8(金) 11:02配信　BSS山陰放送　島根県出雲市**

**感染症　結核菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1e211ea55dfe20b2143706a38437753e92f8feac>

**■腸管出血性大腸菌感染症の入院事例について　令和６年１１月７日１７時３０分**

**福岡県保健医療介護部　がん感染症疾病対策課感染症対策係　福岡県春日市**

**感染症　腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）**<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/235850.pdf>

　　令和６年１１月７日、筑紫保健福祉環境事務所に、管内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の届出があり、患者が入院していることが判明しましたのでお知らせします。

１ 患者

（１）年齢等　１０歳未満、女性、春日市在住

（２）経過

１１月２日 腹痛、下痢が出現。

１１月３日 A 医療機関を受診。

　　　　１１月４日 血便、血尿が出現したため、B 医療機関を受診。精査のため再度 A 医療機関　　　　　を紹介受診、入院。

１１月６日 精査・加療のため、C 医療機関へ転院。

１１月７日 A 医療機関での検査の結果、腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）の感染

が判明。現在、C 医療機関で治療中。

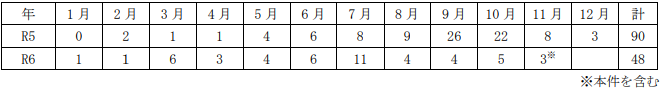
２ 原因　 調査中。

３ 行政対応

　　　患者・家族に対し健康調査、疫学調査を実施し、二次感染予防の指導を行っている。

※ 腸管出血性大腸菌感染症患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）

（令和６年 11 月７日現在）　　　

**★ウイルスによる感染症★**

**■**

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品・回収等★**

**■尼崎市立保育所で賞味期限過ぎたみりん誤使用　8月には別の保育所で期限切れ牛乳提供**

**11/12(火) 12:36配信　神戸新聞NEXT**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/dcbf687e383097dda86ee23d9f89e3ffe05ce3e4>

**■施設等に対する行政処分等　2024/11/5　青森県野辺地町**

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/violation01.html>

　被処分者等の住所・氏名　上北郡野辺地町　合同会社あずまし本舗

　行政処分等の対象となった食品等

　　　ホタテ加工品（ほたて味噌貝焼き）

赤とうがらし漬（青森県産こかぶとホタテのキムチ）

　被処分施設等の所在地・名称　同上

　行政処分等を行った理由　食品衛生法第13条第2項違反（成分規格違反）

　行政処分等の内容　改善勧告

　行政処分等を行った措置状況　令和6年11月5日　改善勧告書の交付

**■川崎市の学校給食で豚肉産地偽装 海外産を国産に 相模原の業者**

**2023年10月31日　かながわ情報羅針盤**

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/yokohama/article/016/82/>

**学校給食に使用した豚肉の産地偽装について　令和５年１１月１０日　相模原市発表資料**

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/029/525/1110/08.pdf>

　本市の学校給食では、米、肉、野菜などの主要食材は、国内産食材を主に使用することとしています。本市が契約している食品納入業者のうち、一部の事業者が次の食材加工業者から仕入れた食肉に産地が偽装された食肉が含まれており、給食食材として学校等に納入されていたことが判明いたしました。

児童、生徒や保護者、関係者の皆様に御迷惑と御心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

１ 概要

（１）食材加工業者

株式会社寿食品（ことぶきしょくひん）（相模原市中央区）

（２）同食材加工業者から仕入れられた食材のうち、産地が偽装されたもの

豚もも肉

（３）納入先及び時期

〇城山学校給食センター（令和５年９月～１０月）

（対象校：川尻小学校、湘南小学校、広陵小学校、広田小学校、桂北小学校、千木良小学校、内郷小学校、相模丘中学校、中沢中学校）

〇津久井学校給食センター（令和５年９月～１０月）

（対象校：中野小学校、根小屋小学校、串川小学校、津久井中央小学校、中野中学校、串川中学校、青和学園、鳥屋学園）

〇旭小学校（令和５年１０月）

（４）その他

本市は、株式会社寿食品に田名小学校の給食調理業務を委託しています。（契約期間：令和５年８月から令和８年７月まで）

なお、委託業務は調理業務のみで、食材発注は市が直接行っているため、田名小学校において株式会社寿食品から食材の納品は受けておりません。

２ 経緯

１０月３１日（火）に他市において同様の事案が報道されたことを受け、本市に納入された食肉についても産地偽装があったか調査を行いました。

調査の結果、本市では、同食材加工業者と食材の納入について直接の契約をしていませんが、本市の学校給食用に食肉を納入している事業者１３社のうち１社が同食材加工業者から仕入れを行っていたことが判明し、同食材加工業者から聞き取り調査を行ったところ、本日、豚もも肉について、産地偽装を行っていたとの申告があったものです。

当該豚もも肉については、事前に国内産とする産地証明書により確認を行っていましたが、証明書も偽造されたものでした。なお、混入された外国産豚肉は、一般に流通する輸入品と同じ製品で、安全性に問題がないことを確認しており、現在のところ健康への影響などは確認されておりません。

３ 学校及び教育委員会の対応

教育委員会においては、他市の事案が発覚した時点で、同食材加工業者の食肉を取り扱う食品納入業者への食肉の発注を中止しています。

また、田名小学校の調理業務委託については、同食材加工業者から１２月末日での撤退の意向が示されており、別事業者に早急に移行させるため、現在、再入札の準備を進めています。

こうした状況について、本日、全児童、生徒の保護者に対し文書にて説明をいたしました。

今後、食品納入業者に対して規格の遵守を徹底するよう指導を行うとともに、学校給食の更なる安全の確保に向け、必要な対応を図ってまいります。

**★その他関連ニュース★**

**■新型コロナワクチン接種率は低迷 接種者から感染する「シェディング」のウワサが一因か**

**11/15(金) 7:31配信　Medical DOC**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f13c331f85577b8c4250e259805425efc1ba8915>

**コロナ後遺症の理解深める動画を作成　東京都 - 回復に向けて周囲の支え必要**

**11/13(水) 15:55配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d5b92f593572dc1ba4784d6864be06d18cd295e2>

**コロナワクチン接種の死亡事例含む63件を認定 - 厚労省の予防接種審査分科会**

**11/13(水) 11:00配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b786e25e22b7dc73de55ce19deab36934e794b90>

**新型コロナの定期接種伸び悩み　厚労相「例年冬に感染拡大」**

**11/12(火) 12:22配信　共同通信**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d17fe87cddc6a524aaaf50d87ec54789f99ed896>

**■鳥インフルエンザで10代の若者が入院　人間への感染はカナダで初**

**11/14(木) 12:30配信　Forbes JAPAN**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/98fe41dabe1291eccfe3f12921bcbaad1c44d550>

**■マカオ、新たに2例の輸入性デング熱感染確認…いずれも広東省渡航歴、今年計30例に**

**11/14(木) 9:50配信　マカオ新聞**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/901e8ca6b6d181b79564691a72191b81da768313>

**マカオ、今年8例目の当地デング熱感染確認…カモンエス公園周辺で4日連続**

**11/8(金) 9:41配信****マカオ新聞**

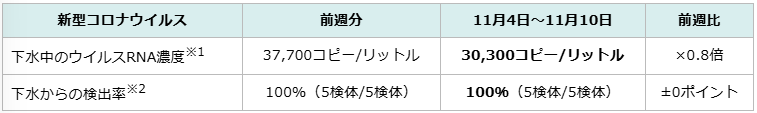
<https://news.yahoo.co.jp/articles/930821e4895b17b72de7e320366e167732b295c2>

**■下水サーベイランス　2024/11/12　北海道札幌市**

<https://www.city.sapporo.jp/gesui/surveillance.html>

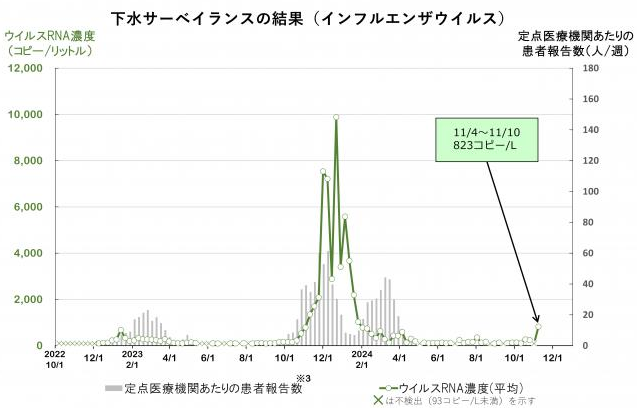
　新型コロナウイルス





　　　ウイルス濃度は前週から減少しましたが、今後の動向に注意が必要です。

　インフルエンザウイルス





　　　ウイルス濃度が前週より増加しており、今後の動向に注意が必要です。

※本調査では、インフルエンザウイルス（A型）を分析対象としています。

**■マイコプラズマ肺炎、東京で2週連続減 - 手足口病は3割減るも「警報レベル」超え**

**11/14(木) 17:40配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bedfcd010e94d65f021b4c9d82c4bf740f4a3799>

**マイコプラズマ肺炎、11週ぶりに減少 - 定点報告数2.46人　感染研**

**11/12(火) 18:15配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3bfba79c7712106561d64dc1e1acb6e01e11c89e>

**■インフルエンザ、全国的な流行シーズン入り…厚労省　11/12(火) 13:15配信　リセマム**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5dd7154d17f112d91f683c1bea78097fa39f3c24>

**インフル全国で流行シーズン入り　厚労省　11/8(金) 17:10配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/18222e71ba597e57f815c74acec8bfdd3815d0ea>

**■【感染症アラート・本格的な流行】手足口病、伝染性紅斑(りんご病)など4つ**

**11/12(火) 13:02配信　感染症・予防接種ナビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3b016462bcb3171c9c2672e24853ff59c568f051>

**■ＷＨＯ、エムポックス緊急事態継続を協議へ　アフリカで拡大続く**

**11/12(火) 10:02配信　ロイター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/acea8c834f72a65356f5fe3c1ef6793a8a047c8d>

**■東京都、食中毒の速報値公表　10月は3件43人、累計96件1,344人**

**2024/11/12　Wellness Daily News**

<https://wellness-news.co.jp/posts/241112-4/>

**■子宮頸がん検診　新たにHPV検査が導入　従来の「細胞診」との違いは？**

**11/9(土) 18:40配信　読売新聞（ヨミドクター）**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cea78c4975eafe0449c3f4d533d8a5e8be10c698>

**■米ＣＤＣ、鳥インフル検査拡大を推奨　無症状感染者発見へ　11/8(金) 11:18配信　ロイター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3a5bcb3244083d281efcd22118f8d5352cfe2677>